

抗がん剤プロトコール 届け票

申請日	2018年8月16日	
申請者	所属科:外科	医師名: 三宅 泰裕
抗がん剤プロトコール内容		
略名	PV+sLVFU	
適応臓器名	治癒切除不能な大腸癌	
薬剤名	ベクティビックス点滴静注 (一般名: パニツブマブ(遺伝子組換え)) レボホリナート(一般名:レボホリナートカルシウム) フルオロウラシル点滴静注液(一般名:フルオロウラシル)	
注意点	各薬剤の注意点を遵守すること。 ベクティビックスの投与にあたっては、インラインフィルター(0.2又は0.22 μ m)を使用すること。	
用法・用量・投与スケジュール		
2週(14日間)を1コースとして繰り返す day1 生食 100mL ベクティビックス点滴静注 6mg/kg 60分かけて投与 デキサメタゾン 6.6mg 30分かけて投与 5%ブドウ糖 250mL レボホリナート点滴静注 200mg/m ² (体表面積) を120分で投与する。 フルオロウラシル点滴静注 400mg/m ² (体表面積) を急速静注 フルオロウラシル 2400mg/m ² を46時間かけて持続静注		
Evidence	各薬剤添付文書	
備考	大腸癌診療ガイドラインには明記されていないレジメンとなるため、他レジメンの選択ができない患者さんに限定する	
がん化学療法委員会承認日:2018年8月20日		